

トピックス

東大宇宙研のオーロラ観測 カナダでもデータを受信

カナダは、東京大学宇宙航空研究所在が打ち上げた第五号科学衛星エクソスAによる北極圏のオーロラ観測に参加する。「きょっこう（極光）」と命名されたこの衛星は、特殊な紫外線カメラでオーロラを撮影するほか、紫外大気光やプラズマ波などの観測を行うためのもので、カナダでは、マニトバ州のハドソン湾に面する国立科学振興会（NRC）チャーチル宇宙センターに設置される施設が、衛星から送られたデータを受信している。

ベスト博士が死去 インシユリンの発見者

糖尿病の治療には不可欠な薬といわれるインシユリンの共同発見者、チャールズ・H・ベスト博士（写真）が、三月三十一日、腹部動脈破裂で死亡した。二月末に七十九歳になつたばかりだった。ベスト博士は一九二一年、外科医のフレデリック・バンティング博士（一九四一年に飛行機墜落で死亡）と共にインシユリンを開発した。これにより、不治の病とされ、死亡することも多かつた糖尿病は、血糖分が調節され、効果的に治療されることになった。



博士は一九六七年にトロント大学にあるパンティング・ベスト医学研究所の所長および同大学の生理学部教授を退任したあと、医学研究所、トロント小児病院、マウント・シナイ病院などのコンサルタントの職にあつたほか、世界各国を訪れて糖尿病や関連諸病に関する研究を奨励していた。

キヤブテン・クック周航二百年祭 B・C州が帆船ショードを計画

キヤブテン・クックが三回目の世界探検旅行で現在のブリティッシュ・コロンビア州沖に達してから、今年でちょうど二百年。クックは、すでに一七五八年、カナダ大西洋岸のノバ・スコシア沖を航海・測量し、また英國のケベック攻略にも参加、またのちにニューファンドランド沖やラブ라도ル沖を測量するなど、カナダとは縁が深い。クックが三月三十一日、腹部動脈破裂で死亡した。二月末に七十九歳になつたばかりだった。

ベスト博士は一九二一年、外科医のフレデリック・バンティング博士（一九四一年に飛行機墜落で死亡）と共にインシユリンを開発した。これにより、不治の病とされ、死亡することも多かつた糖尿病は、血糖分が調節され、効果的に治療されることになった。

五月三十日～六月十二日＝世界四分の三トン級セーリング選手権大会。

上智大学カナダ・センター 多彩な活動でカナダを紹介

上智大学七号館にある「カナダ・センター」（主事コンラッド・フォルタン師）は、開設以来十八年目を迎えた。同センターでは、カナダに関する参考図書を備えて学生だけでなく一般の人々の利用に供しているほか、各種の活動を行つてカナダを紹介している。

大戦の戦死者の数を上回るといふ。

博士は一九六七年にトロント大学にあ

る帆船出港。
八月一日～三日＝軍艦出港。

日加経済人会議 関係促進を討議

第一回日加経済人会議が、五月十六、十七の両日、経団連会館で開かれた。この会議は、民間レベルで両国間の貿易・経済的関係を深めていくこういふもので、カナダからはディビド・カルバート同会議カナダ委員会会長（アルキヤン・アルミニウム社社長）をはじめとする経済界代表四十九人が参加した。

会議では、両国経済の現状と展望、日加貿易投資関係の現状と展望について双方から紹介がなされた。そのあと、日本側から日本の消費財・資本財市場の変化、製品輸入の動向と輸入促進の努力、流通機構、産業・通商政策とジエトロおよび商社の役割、政府・民間の関係について、またカナダ側から欧米工業製品の対日輸出成功例・失敗例・留意点、カナダ側からみた対日輸出の問題点などについて説明があった。二日目は四つの部会にわけられて、具体的なことながらについて討議した。



▲カナダ・センターでのフォルタン師と学生たち。2

一は学生のカナダ旅行を実施し、これを教育者の定期集会場としても利用されてゐる。さらに、六十六年以来、同センターは開設以来カナダ・センターの運営にあたってきた主事のフォルタン師（オントナリオ州出身）は、フランス語とフランス文学の教授。ホッケーの指導、普及でも活躍している。